

宇宙を旅した 古代米の物語り

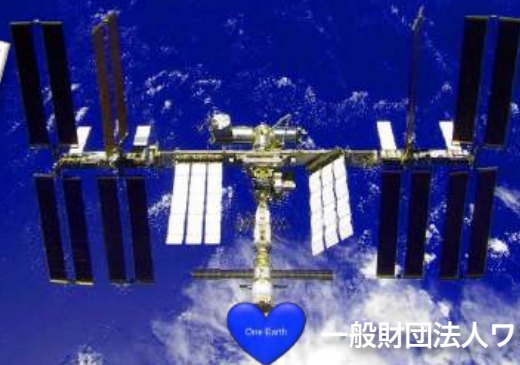
2021年6月4日、復興を誓う東北各地からのさまざまな特産品（多くは花や野菜の種）と一緒に、多賀城市からも「古代米」の種がNASAのロケットに乗り、国際宇宙ステーションに37日間の宇宙旅行をし、無事帰還しました。

ふるさと多賀城に戻った種は「宇宙古代米」として、市内の小学生たちの手で毎年田植え・収穫を繰り返し、とうとう田んぼをおおいつくすほどの量に増えたのです。

多賀城の宝物「宇宙古代米」を、どのように活かすか…カレー？おにぎり？ケーキやアイス？？ さあ、みんなで考えてみましょう♪



国際宇宙ステーションから世界中に、感謝のメッセージ動画を発信する野口聡一JAXA宇宙飛行士



文部科学省後援事業
復興庁「東日本大震災発災10年復興発信事業」
東北復興宇宙ミッション2021

一般財団法人ワンアース



東北復興宇宙ミッションのライフサイクル



シグナス補給船



ドラゴン補給船

2021年2月20日打上

2021年6月4日打上



ISS内で感謝の動画撮影
2021年3月11日に世界へ発信!!



米国スペースX
ドラゴン宇宙船



2021年7月10日
横断幕と記念品
地上へ帰還



アントレスロケット



ファルコン9ロケット



宇宙に展開した横断幕・長さ7m



東北復興宇宙ミッション2021
国際宇宙ステーション・日本実験棟「きぼう」・フライト証明書

JAXA有人宇宙技術部門
きぼう利用センター長 小川 浩平
小川 浩平
JAXA

2020年7月
プロジェクト
本格始動



宇宙を旅した素材で、
ポスト10年の地域創生と震災の伝承



各地の復興画像
を刷った横断幕

各地の復興記念品
花や農作物の種など

JAXA契約 7/20
復興庁選定 7/31

宇宙フライト証明書

宮城県多賀城市 古代米

TAGAJI City, MIYAGI Pref. Wild Rice, *Oryza sativa*

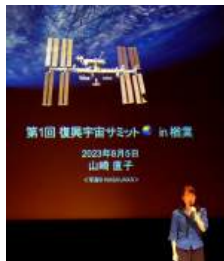
東北復興宇宙ミッション実行委員長
山崎直子宇宙飛行士からのメッセージ

東日本大震災から十年あまりが経ちました。

国内外の多くの皆様のご支援により、東北は復興の歩みを続けておりますが、まだまだ道半ばです。

この未曾有の災害の、記憶と教訓を、後世に伝えていくことが大切と考え、今回の宇宙ミッションでは、多くの少年少女たちに参加していただきました。

この宇宙ミッションの成果が、さらなる復興と交流のお役に立てれば幸いです。



世界にメッセージを発信するJAXA野口聡一宇宙飛行士



実際に宇宙フライトしたカード Space Flight Card

この記念品が、ポスト10年の復興のシンボルとして、未永く地域のお役に立つとともに、復興を支援してくれた世界各地との交流の掛け橋になることを期待します。

Memorial items, as a symbol of reconstruction, are expected to be useful for the regional promotion for a long period and to serve as a bridge for exchanges with various countries of the world that have supported TOHOKU reconstruction.



Falcon9ロケットの打上げ©NASA



国際宇宙ステーション 全景©NASA



日本の「きぼう」近影(左)©NASA

東北復興宇宙ミッション2021 実行委員会
TOHOKU Reconstruction Space Mission 2021 Executive Committee

実行委員長 山崎直子
Chairperson Naoko Yamazaki

